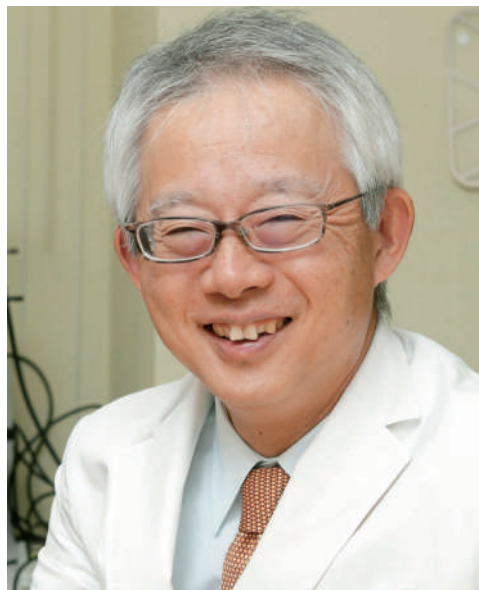


マエストロに聞く

堀江重郎

HORIE Shigeo

順天堂大学大学院医学研究科泌尿器外科学講座教授



テストステロン補充療法

テストステロンは男性に活力をもたらすホルモンであるが、近年、男性のテストステロンが低値の傾向にあり、心身の不調に陥りやすいとする報告もある。働き盛りの男性が競争社会を生き抜き、高齢男性が自立した健康を実現するためには、テストステロンの分泌を高めて心身の強化をはかる必要がある。メンズヘルスの第一人者である堀江重郎先生に、テストステロン補充療法の実際についてお話を伺った。

高度文明社会で減少している 男性のテストステロン

男性のライフサイクルにおいて、テストステロン値はどのように変動するのですか。

人間は性染色体の型がXXの女性が基本型で、胎児期にY染色体上の性決定遺伝子であるSRY (sex-determining region Y)が発現すると男性となります。男性に分化した胎児は妊娠4カ月頃に大量の男性ホルモン(テストステロン)を分泌し、外性器が形成されます。これが一次性徴で、このときのテストステロン値は成人男性に匹敵する非常に高い値です(図1)。出生後、しばらくしてテストステロンは一時的に分泌が増加し、脳の性分化が起きます。男の子であれば、男の子らしい遊び

方や車に関心をもつようになります。小学生の時期はテストステロン値に男女差はなく、思春期になると再び分泌が増加し、男性的な体が作られます。これが二次性徴です。一般的に、テストステロン値は加齢に伴って減少すると考えられています。しかし、われわれの研究では、テストステロン値は加齢とともに個人差が大きくなるのがわかっています。つまり、年齢を重ねても若い頃と変わらない人もいれば、目立って低下する人もいるということです。

最近、男性のテストステロン分泌に何か特徴的な変化はみられますか。

最近の男性はテストステロンの分泌量が減っているのではないかという意見があります。たしかに約10

年前の米国のデータで、テストステロン値が以前より減少しているというデータはあります¹⁾。ただし、この結果が世界中のすべての地域の男性にあてはまるかどうかはわかりません。1ついえることは、米国や日本などの高度な文明社会では、加齢によってテストステロン分泌が低下する人の割合が高いということです²⁾。一方で、たとえば発展途上国ではテストステロンの分泌に年齢による影響はみられず²⁾、やはり文明社会におけるストレスがテストステロンの分泌量を減少させている可能性が考えられます。

テストステロン分泌低下による 心身の不調と男性美容への影響

テストステロン分泌低下は、心身にど